「*小細胞肺癌におけるタルラタマブ効果予測因子としての TTF-1 の後方視的観察研究*」に関するお知らせ

このたび、当院にてタルラタマブによる治療を受けた患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可の下で行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

2025 年 5 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の期間に埼玉医科大学総合医療センターにてタルラタマブによる治療を受けた患者さんを対象としています。

２．研究の目的

小細胞肺癌の二回目以降の薬物治療としてタルラタマブが標準治療となっています。しかしながら、治療効果を予測する指標についての報告は少なく、簡便で有用な指標の登場が望まれます。当院での治療症例を振り返ることにより、TTF-1 が治療効果を予測する指標となりうるか検討します。

３．研究期間

病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

４．利用または提供の開始予定日

2026 年 11 月 6 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

５．研究対象者に生じる利益・不利益

本研究による研究対象者個人への直接的な利益はありません。過去に収集された情報のみを用いるため、新たな負担や健康被害が生じることは原則としてありません。ただし、臨床情報を取り扱うため、個人情報漏洩のリスクがあります。

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

小細胞肺癌と診断された患者さんの中からタルラタマブによる治療を受けた方の発病時からの経過、検査データ、画像データ、現れた有害事象などについて診療録の情報を使用します。

研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、個人情報安全管理責任者である菊池聡が個人が特定できないよう加工した上で管理します。

２．試料・情報の取得方法

薬物療法として、タルラタマブによる治療を受けた患者さんの病状の経過、検査・画像データ及び診療記録等を用います。

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 菊池聡（研究責任者）
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 植松和嗣
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 小山信之
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 森山岳
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 教山紘之
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 坂井浩佑
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 平田優介
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 小川由美子
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 桑原由樹
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 佐々木麻衣子
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 西村博明
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 石井繁
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 横須賀伸
埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器内科 松本いつか

４．試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター　病院長　別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター　呼吸器内科　菊池聡
住所：〒350-8550　埼玉県川越市鴨田 1981
電話：049-228-3461（土日祝日を除く 9：00～17：00）

〇研究課題名：小細胞肺癌におけるタルラタマブ効果予測因子としての TTF-1 の後方視的観察研究
〇研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター　呼吸器内科　菊池聡